

チュートリアル課題 気のせいではない

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032350

2014年度 Segment. 6

課 題 No.7

課題名：気のせいではない

課題作成者：皮膚科学
皮膚科学
皮膚科学
皮膚科学
神経内科学

常深祐一郎
竹中祐子
福屋泰子
石黒直子
飯嶋睦



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

松本さんは70歳の男性です。6ヶ月前から家族に「最近顔が赤いね」と言われるようになりました。2ヶ月前からは体や手足がかゆくなり、皮膚が赤くなっています。

シート2

近医で湿疹と言われ外用療法を行いましたがよくならないため、大学病院の皮膚科を受診しました。 医師「今日はどうされましたか？」 松本「最近体中がかゆいんです。」 —診察後— 医師「最近力が入りにくかったり、関節が痛いことはありませんか？」 松本「そう言われてみると、疲れやすくなりました。階段を上がるのがしんどく、指の関節が痛いこともあります。」 皮膚以外の症状も聞かれ、松本さんは困惑しました。 医師「見ただけでは診断がつかないので、膝の赤くなっているところから皮膚を取って調べてみましょう。」 松本「皮膚をとると何がわかるのですか？皮膚を取るってどうやってやるんですか？ その検査はしなければならないのですか？」

シート3

医師「病理検査の結果、液状変性やコロイド小体といわれる変化がみられ、単なる湿疹の所見では
ありませんでした。」 松本「えっ本当ですか？この手や膝に出ている赤い発疹は湿疹ではないのですか？」
医師「もう少しいろいろ調べてみなければ断定的なことはいえません。」 松本「他に何を調べるのです
か？」

シート4

医師「胃の内視鏡で胃にできものが見つかりました。」 松本「えっ それは癌ですか？」 医師「生検の結果、異常な細胞がみられており、癌と判断しました。内臓の病気を皮膚が教えてくれたんですね。」 松本「どうしたらいいんでしょうか？」 医師「まずは胃の治療を計画しましょう。それでよくなる場合、追加の治療をするかもしれません。」 松本さんは皮膚が赤くなって受診しただけなのに、胃にも病気がみつかって動揺してしまいました。また、今後の治療のことが不安になってしまいました。

シート5

松本さんは胃病変部発見後速やかに手術を受けました。術後、皮膚症状、筋酵素値、関節症状および検査所見は改善傾向にあり、追加の治療は行わず経過をみているところです。